第 2018-21 号

恵みと真理のニュース

2018 年 5 月の四次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

[証]

事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。

私は持っていた全ての財産を失って、1987年に新しく生きると思って誰も知らないアンサンに引越しました。そして、当時、家主である首区域長から伝道されてイエス様を信じアンヤン聖殿に通い信仰生活をするようになりました。さびしくて大変だったそのごろ、神様に対する信仰と愛と希望で、神様が与える慰めと力で耐えて乗り越えました。信仰生活をはじまったばかりにはどう祈ればいいかわからなくて主の祈りを繰り返して読みました。後は子供のような心で“これが成し遂げられるように、あれがほしいです。と神様に祈りました。御言葉の恵みと聖霊のお働きによってイエスキリストの恵みと愛を悟って救いの確信を持った後には毎日のように時間を決めて神様に祈りました。
主日に聖徒達と共に教区バースを乗って賛美しながら教会に行く時、最後に賛美歌185章“わたし、あなたをため”を歌いました。その瞬間心が熱くなり、涙を流し始めました。今まで神様に願い求める祈りだけして私が主に捧げたものが何一つなかったのです。礼拝を終えて家に帰ってきて私が主のため何を捧げることができるのかじっくり考えました。そして、ショッピングバッグを作る内職をして十分の一献金を神様に捧げ始めました。すると、礼拝をする喜びも大きくなってもっと大胆に神様に求めて祈ることが出来ました。教区伝道士が家に訪問に来られ、コリント信徒への手紙二8章9節“あなたがたは、わたしたちの主イエス. キリストの恵みを知っています。すなわち、主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです。”という御言葉で慰めて祝福してくださいました。私はこの御言葉を昼夜で黙想して感謝しながら休まずに祈りました。大変な状況の中でも神様に祈り、熱心に信仰生活をすると神様の大きい恵みが私の家庭に望みました。3年間職場がなかった旦那が職業が探して借家住むようになりました。旦那が1年間日本に出張に行って誠実に勤務して会社から認定を受けて社員住宅に入居しました。そして自分の家も持つようになりました。神様が区域長の職分を下さってもっと熱心に教会を仕えて不信者達を伝道しました。二人の息子が成長して教育をさせるため仕事をしながらも職場区域を担当して奉仕しました。どころが、2002年8月ある日でした。夢に“今何をしているか？早く病院に行きなさい。”と奇異な声が聞こえました。どうしてですか？と聴く瞬間、むち打たれたように太ももがとても痛くて驚いて起きました。朝2時が超えた時間でした。次の日から腰とわき腹も痛くなりいろんな症状が現れて病院に行って検査を受けた結果、大腸癌3期であると晴天霹靂のような話を聞かれました。私はまず、悔い改める祈りを捧げて感謝して求める祈りを神様に捧げました。まだ、信仰が弱い旦那と子供たちではなく私が病気になったのが幸いと思って感謝しました。そして、病気を癒してくださる神様の愛と権能を強く信じて信仰で神様の助けを求めました。“神様！この病気を勝つ勇気と力をください。私を治療してください。”と治療のラパ神様を仰ぎました。そのように祈る時に神様がイザヤ41章10節の御言葉で力と勇気を与えてくださいました。“ 恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。勢いを与えてあなたを助け／わたしの救いの右の手であなたを支える。”誰の助けを受けなくて一人で手術室に行って手術する医師に“先生、きれいに手術してください。信じます。”としました。医師も私のような患者は初めて見るとしました。私が信じ神様に祈ったとおり良く手術をしました。以後、抗がん治療を受けて長く抗がん剤を飲みましたがどんな
副作用も現れませんでした。5年後に完全に治った判定を受けて18年が過ぎた今まで健康に生活をしています。
二人の息子が大人になって職場にも行って、長男が結婚して二年が過ぎた2012年に、長男の夫婦に子供が出来なくて礼拝と区域祈り会で熱心に祈りました。そんな中で8月15日から17日に2泊３日間、田園聖殿で夏祈り断食祈り聖会が開かれました。私は時間ことにエレミヤ３３章３節とヨハネの福音書１４章１３節御言葉を強く信じて祈りました。当会長の牧師が“あなたの信仰があなたを救った。”という題目をはじめ閉会礼拝まで５回尊い説教をして私たちと祝福してくださいました。最後の時間には“あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にいつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。”（ヨハネの福音書１５：７）御言葉を信じて祈りながら、祈る課題ことに答えられた確信をしました。それで、家に帰ってくる時間ずっと神様に感謝する祈りを捧げました。そのように聖会を帰って来た後、何日後、嫁が来て“お母さん、私、妊娠しました。”と喜び話を伝えました。ハレルヤ！神様が健康できれいな孫娘をくださいました。
３年後、私は嫁に“私が一歳でも若い時、子供の面倒を見てあげる。”として二番目の子供の計画を聞きました。しかし、嫁はもうちょっと考えるとしました。私は心の中で“そう。誰が勝つのか見てみよう。”とその日から毎日、孫を与えてくださいと神様に祈りました。まもなく、嫁から二番目の子を妊娠したと連絡を受けました。私の願い通り孫が生まれました。
今回にはもっと年をとる前に新しい家を作ると目標を立て新しい祈り課題で祈り始めました。また、勧士の職分を愛しながら献身準備をしました。神様は２０１５年が５月５日に私に勧士の職分を下さって、その２年後には新都市に新しいアパートを与えてくださいました。国内宣教会で共に奉仕する勧士をついてモデルハウスに見物するため行ったが、心に入って分譲申し込みしましたが、２順位でしたが、神様が節理してくださり私が願うとおりに分譲する事が出来ました。
どころが、入居する時期全部一度に売り物が出て住んでいる家が早く売買されなくて困っていました。その時、主日に当会長の牧師の説教で夜通し天使と格闘をしたヤコブ、神様と共に生き勝利したヤコブについて話してくださいました。その御言葉を聞いて私は悔い改めてもっと切に神様に祈りながら、私の考えではなく神様の御心通り、神様の時に成し遂げてくださいと祈りました。そして、万事が益となるように共に働く神様の恵みで新しい家に入ることが出来ました。
“主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。
あなたがたの広い心がすべての人に知られるようになさい。主はすぐ近くにおられます。 どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。
”フィリピ信徒への手紙４：４～６）今まで、私が神様から受けて祈りの答えてと恵みを全部話せられないほど多いです。しかし、何よりも大きくて栄光ある福は私の家族の魂が救われ永遠な命と天国の福を享受したことです。この驚くな恵みと愛を与えてくださった神様に感謝を捧げます。ハレルヤ！神様を賛美します。神様から呼ばれるその日まで主が再び来られるその日まで相変わらず主を愛し忠誠します。

[信仰コラム]

聖徒に合う笑い

”...その時われらの口は笑いで満たされ、われらの舌は喜びの声で満たされた。その時「主は彼らのために大いなる事をなされた」と／言った者が、もろもろの国民の中にあった。”（詩編 126:1～2）

笑いが人の精神と肉体に及ぼす肯定的な効果がとても高いという事実は良く知られています。笑いは心に余裕を与えて柔軟に行動できるようにします。聖書には神様の前で笑った人々に関する話しと笑いに関連した節があります。
第一は、聖徒に合わない笑いと聖徒に合う笑いに対して調べてみましょう。
ここに関する話しが創世記 17 章と 18 章にあります。アブラムが 99 歳になった時にエホバがアブラムに現われて彼に”「わたしはあなたと契約を結ぶ。あなたは多くの国民の父となるであろう。あなたの名は、もはやアブラムとは言われず、／あなたの名はアブラハムと呼ばれるであろう。わたしはあなたを多くの国民の／父とするからである。”と言われました。するとアブラムが顔を下げて笑いながら心の中で”百歳の者にどうして子が生れよう。”としました。
神様が旅人の姿でマムレのテレビンの木の傍らでアブラハムに現われて彼が持て成した食べ物を食べられた後”来年の春、わたしはかならずあなたの所に帰ってきましょう。その時、あなたの妻サラには男の子が生れているでしょう”と言われると、サラが天幕の門で聞いて心の中で笑いながら”わたしは衰え、主人もまた老人であるのに、わたしに楽しみなどありえようか”としました。
アブラハムやサラは彼らの体の状態に執着して常識の範囲の中で神様の御言葉を理解しようとしたので不適切で合わなく笑ったのです。しかし、アブラハムとサラは神様の指摘とお叱りを聞いて彼らの笑いが神様の御言葉に合わないのを悟りました。そうして態度を完全に変えて神様の御言葉をその通りに信じました。彼らが神様の御言葉に合う信仰を持つようになった結果が創世記に記録されています。”主は、さきに言われたようにサラを顧み、告げられたようにサラに行われた。サラはみごもり、神がアブラハムに告げられた時になって、年老いたアブラハムに男の子を産んだ。アブラハムは生れた子、サラが産んだ男の子の名をイサクと名づけた。”としました。イサクという名は”彼が笑った”という意味です。神様が約束なさった御言葉を最後まで信じる聖徒は必ず笑うようになります。このような笑いが聖徒に合う笑いです。
第二は、聖徒は誰でも笑いを失わずに生きることができます。その理由を調べてみます。
イエス様は全ての苦痛を超越する喜びを持たれ、このような喜びを聖徒達にも与えてくださいます。イエス様が直接”わたしがこれらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにも宿るため、また、あなたがたの喜びが満ちあふれるためである。”と言われました。イエス様が与えてくださった福音は罪によってそして、生活の空しさと無意味によって憂鬱な人生達に誠な楽しみを得るようにしてくださいます。悲しみと苦難が多いこの世を生活するとしても聖徒達が笑いを失わずに生きることができる最も大きい理由は救いを得たからです。義人、聖徒、王のような祭司長、神様の子、天国、復活、新たな空と新たな地、新たなエルサレム、主の称賛と賞、冠この全ては救いが意味することです。聖徒はキリストの中でこのようなことが全て自分の所有になり、経験する現実になったり、なることを考えながら楽しんで笑いながら生活することができます。これは敬虔に属する練習だと言えます。
神様が大事を行われてキリストの中で私達に与えてくださった恵みに従って笑いながら生きて、楽しく生きると皆さんが正しかったということを神様が証明してくださるでしょう。そして天国に行くと自分が誠に賢しかったということを悟るでしょう。聖徒達は将来新たなエルサレムで主と共に生きながら永遠に楽しみながら笑うでしょう。しかし、この世で生きる間にも皆さんは神様の言約なさった御言葉と啓示の御言葉に対する信仰によって楽しんで笑いながら生きるよう祝福します。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

新しく生れる聖霊様

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

誰でもイエス・キリストを信じて受け入れれば、神様の子どもで生まれるようになります。 ヨハネによる福音書 1 章 12 節と 13 節に記録されるのを**「しかし， 彼を 受けいれた 者，すなわち， その 名を 信じた 人々には， 彼は 神の 子となる 力を あたえたのである．それらの 人は， 血すじによらず， 肉の 欲によらず，また， 人の 欲にもよらず， ただ神によって 生れたのである」**しました。神の子どもになったことを **コリント人への第二の手紙 5 章 17 節には、「 だれでも キリストにあるならば， その 人は 新しく 造られた者である． 古いものは 過ぎ 去った， 見よ，すべてが 新しくなったのである」**しました。「新しくなった被造物」または「新しいもの」になったとしました。イエスは**「新しくなった人」**または**「聖霊で生まれる」**と言われました。したがって、神の子、新しい被造物、新しくなった人という名称は、イエスを信じる人が体験する身分と存在の変化を表しています。このような変化に聖霊が関与されます。今日は **聖霊で生まれる**に対して説明します。

第一に、新しく生れは、イエス・キリストを信じる者が経験することになる性質の変化です。

ヨハネ 3 章を見ればニコデモが夜中にイエスを探して来ました。彼はパリサイ人であり、ユダヤ人の役人であり、先生で紹介されました。ニコデモが口を開いて、**「 先生， わたしたちはあなたが 神からこられた 教師であることを 知っています． 神がご 一緒でないなら，あなたがなさっておられるようなしるしは，だれにもできはしません 」**と急いを取り出しました。イエスはニコデモに信じられないほど言われました。**「よくよくあなたに 言っておく． だれでも 新しく 生れなければ， 神の國を 見ることはできない 」**イエスはニコデモが神の国に入る道について知りたいことを迂回的で言っていることを知っているので単刀直入に答えました。
イエスはニコデモに、神の国に入る道についてじわじわ説明ました。まず、 新しく 生れなければならないとされました。そして新しく生れることは、聖霊によるのであり、肉体ではなく、魂に起こっている変化と言われました。その次には、聖霊が人を生まれ変わられることは、風が私たちの目には見えないが実在し、風が行った事の結果を見ることができるように聖霊が行われたことの結果は見ることができると言われました。
その次は、出エジプトしたイスラエル人が荒野で火の蛇にかまれて死にそうになったとき、神がモーセに青銅の蛇を作って竿に張って青銅の蛇を見てみると生きるようになりました。
これらの神の言葉をそのまま信じて見て、見たので死を免れ、生きる人々のように、イエス・キリストを信じるだけで、永遠の命を得ると言われました。

「人がどのようにしなければなら神の国に入ることができますか？」というニコデモの質問にイエスの答えを要約すると次のとおりです。「神の国に入るには新しく生まれなければならず、新しく生れるには、永遠の命を与えてくださるイエス・キリストを信じなければならない。」 新しく生まれという言葉で「再び」という言葉は、「上から」と呼ばれる場所と「再び」という時間的な意味を持っています。「上から」とは、神様からという意味になります。新しくなったという話は「神から新たに生まれる」ことです。上から新たに生まれた人は、新しい命を持つようになります。神から新しい命を受けて新しく生れるということです。
ローマ人への手紙 6 章 4 節に「 すなわち，わたしたちは，その 死にあずかる バプテスマによって， 彼と 共に 葬られたのである．それは， キリスト が 父の 榮光によって，死人の 中からよみがえらされたように， わたしたちもまた， 新しいいのちに 生きるためである」しました。この新しい命は、肉の命とは質的に全く異なるものです。肉に万回を新しくなったといっても、その命はまだ肉の命だけです。新しくなった者にある命は神から与えられた霊的な生命であり、永遠の命です。イエスが言うのを新しく生れるは、水と御霊によって生まれとしました。ここで、水は浄化させる洗礼を意味します。洗礼は、イエス・キリストを信じる人に行なう 神聖な儀式です。イエス・キリストと連合されて昔の人は、 葬られ、新しい命を得て再び生かされていることです。そして、罪の洗われたことを意味します。罪の洗いは人の行為ではありません。イエス・キリストの贖いの恵みと血の恵みのたけで出来るものです。イエス・キリストを信じる者に聖霊が新しく生まれるよう下さいます

第二に、新しく生れるは一度で終わる一回性の霊的な変化です。

ペテロの第一の手紙 1 章 3 節に**「 ほむべきかな， わたしたちの 主 イエス · キリストの 父なる 神． 神は， その 豊かなあわれみにより， イエス · キリスト を 死人の 中からよみがえらせ， それにより， わたしたちを 新たに 生れさせて 生ける 望みをいだかせ」**しました。「生まれ変わり下さる」の原語「アナゲンネサス」は否定過去分詞として生まれ変わりが繰り返されていない一回で終わることであるという事実を教えてくれます。したがって、「もう一度新しく生れるにしてください。」という言葉をしないでください
人は他の人の霊的な状態を正確に診断することは困難です。しかし、神はすべてご存じです。したがって、両方の心を抱いている人をご存じです。神と偶像を兼ね仕える人を御存じです。神はこのような人の礼拝を正しい礼拝に認めません。アモスの預言者が神の言葉を代弁することを**「イスラエル の 家よ， あなたがたは四十年の 間， 荒野でわたしに 犠牲と 供え物をささげたか．」（アモス書 5:25）**しました。イスラエル人は幕屋で神が指示された祭祀法の通りに供物を捧げてきたことは事実です。それでも、このような言葉をされるのはなぜですか？神は人の心の中を見抜い見られます
イスラエルの民は、二つの心を抱いていました。モーセがシナイ山に上る後数日のたよりがないので、イスラエルの民はアロンに目に見える神の像を作るように強制しました。アーロンは、群衆の圧力に屈して、金の子牛の形状を作りました。民が金の子牛の偶像の前で礼拝しました。彼らの口には、主なる神を呼びながらも、心には、偶像にあこがれて仕えたのです。したがって、彼らは 40 年間 幕屋で供物をましたが、神はこれを真の祭祀に認めていないです。カナンの地に入っても同じでした。彼らは主の名前を呼びながらも、カナン人の宗教行事に参加して、彼らは偶像に仕えました。偶像崇拝の居所である高き所でいけにえをささげました。結局、彼らは神の罰を受けて国が滅びてアッシリヤとバビロン帝国の捕虜に連れて行かれました
新しくなった人は、過去にイスラエルの民がしたようにしません。そうすることができません。一時は熱心に礼拝するがある日、教会を離れて行ってしまった者です。一時は熱心に教会に通うところ異端集団で行ってしまった者があります。かつて熱心に奉仕し、伝道したが、今では偶像に仕える者です。新しくなった人はそうしません。新しくなった人は、教会の残骸とクリスチャンを無惨に処刑する者を容認する者の側に立ちません。新しくなった人が堕落して再び悔い改めて再び新しく生れることが起こることができません。しかし、新しくなった人は、全く堕落しないことはありません
新約聖書 ヘブル人への手紙にこのように警戒しています。 **「 いったん， 光を 受けて 天よりの 賜物を 味わい， 聖靈にあずかる 者となり また， 神の 良きみ 言葉と， きたるべき 世の 力とを 味わった 者たちが， そののち 堕落した 場合には， またもや 神の 御子を， 自ら 十字架につけて， さらしものにするわけであるから， ふたたび 悔改めにたち 帰ることは 不可能である」（ ヘブル人への手紙 6：4～6）。 「もしわたしたちが，眞理の 知識を 受けたのちにもなお， ことさらに 罪を 犯しつづけるなら， 罪のためのいけにえは， もはやあり 得ない．ただ， さばきと， 逆らう 者たちを 燒きつくす 激しい火とを， 恐れつつ 待つことだけがある」（ヘブル人への手紙 10：26,27）。**新しくなった人が堕落すればどうなるのかを警告する恐ろしい言葉です。新しくなった人が堕落したが再び新しく生れることがあるのがないことを言ってくれるものでもあります。新しくなった人は、どのような誘惑と迫害と苦難と試練が迫っとも、イエス・キリストを裏切るのがありません。聖霊は新しく生れることだけでなく、新たになった者を耐えて勝つ力をくださるからです

新しく生れるは非常に大きいでおもな真理です。これまで説明した内容をまとめてみましょう。
1.新しく生れるは、イエス・キリストを信じて罪の洗いを受けた人が経験することになる霊的な変化です。2.新しく生れるは、神様が与えられる新しい命 すなわち永遠の命を得て、神の子供に再び生まれになります。3.新しくなった人だけが神の国を見ることになります。4.新しく生れるは繰り返されることではありません。5.新しく生れるのは、聖霊のなさることです。神秘に俗することなので、肉体的に検知することができませんが、新しくなった人の生活を通して、その証拠が表われます。あなたはすべての真実にイエス・キリストを信じて、聖霊で新しくなった聖徒として天国の望みがいっぱいして生きて行かれることを願っております。